



NIPPON BEARING

8月30日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細

【体操の技の名称は 考案者の姓から 名付けられる】

体操競技は、種目の数もさることながら、技の多さにも目を見張るものがあります。美しさを競うスポーツですが、その美しさを公平に判断するために、採点基準は詳細まで厳密に定められています。技の難度によって加点されるDスコア、演技の出来栄によって減点されるEスコア、この2つの点数を加算することで採点されます。

現在、技の難度はA～H（女子はA～I）まであり、種目別にそれぞれ技の名称が付いています。
「屈身コバチ、カッシーナ、アドラー1回ひねり～ヤマワキで決めた！」

『コバチ』『カッシーナ』『アドラー』『ヤマワキ』、これらは全て技名（通称）です。この技名、新技考案者が好きな名前を付けられる訳ではなく、『姓』のみ技名として認定されます。日本人の名前の技名も多く、最近では『シライ3』（H難度）などもあります。

『シライ3』だけ聞いても、どの様な技か分かりませんが、【後方伸身2回宙返り3回ひねり】と聞けば、シライ3を知らなくても、どんな演技か想像できます。
実は、ベアリング製品も、読めばある程度、製品内容がわかる名称がついています。

日本ベアリングの『スライドウェイ』、一般的には『クロスローラーガイド』と呼ばれています。
体操競技の『シライ3』が【後方伸身2回宙返り3回ひねり】であるように、
直動ベアリングの『スライドウェイ』は【クロスローラーガイド】である。
名前を見れば、どのような体操競技の技なのか、どのような機能を持ったベアリング製品なのか、一目瞭然です。

体操競技とベアリング、全く異なる分野ですが、他にも共通点を数多く見出すことが出来ます。
【体操競技：ベアリング】で対比してみると、
【種目・技の多さ：種類の多さ】【演技・技の正確性：製品の精密さ】【美しさ：機能美】等々、
共通項がたくさん見つかります。
ベアリングはまさしく、機械部品界の体操競技のようですね。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】